

資料1

令和3年度進捗評価シート 桑折町歴史的風致維持向上計画（平成28年3月28日認定） （最終変更令和4年3月30日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画実施のための組織体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観行政団体への移行と景観計画策定	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 史跡桑折西山城跡等周辺の誘導路及び駐車場整備事業	3
2 大榎遺跡(万正寺の大力ヤ)周辺整備事業	4
3 桑折宿の歴史的風致形成建造物等に関する修景助成事業	5
4 旧伊達郡役所周辺整備事業	6
5 西根堰及び水路修景事業	7
6 屋外広告物等の景観に配慮した改善に対する助成事業	8
7 歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業	9
8 歴史・文化財学習講座事業	10
9 小中学生の認識向上推進事業	11
10 観光・歴史・文化財等総合ガイド施設整備事業	12
11 周遊性向上・案内板等整備事業	13
12 桑折宿周遊拠点整備事業	14
13 桃源郷周遊性向上事業	15
14 文化財等保護活動団体及び歴史を活かしたまちづくり団体への支援事業	16
15 地域の文化遺産の調査及び継承支援事業	17
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定など	18
2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災に関する取組など	19
3 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など	20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 「桑折で全国山城サミット」「明治期の門扉再現」他	21
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 観光入込客数の推移について	22
法定協議会等におけるコメント	23

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和3年度
計画実施のための組織体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

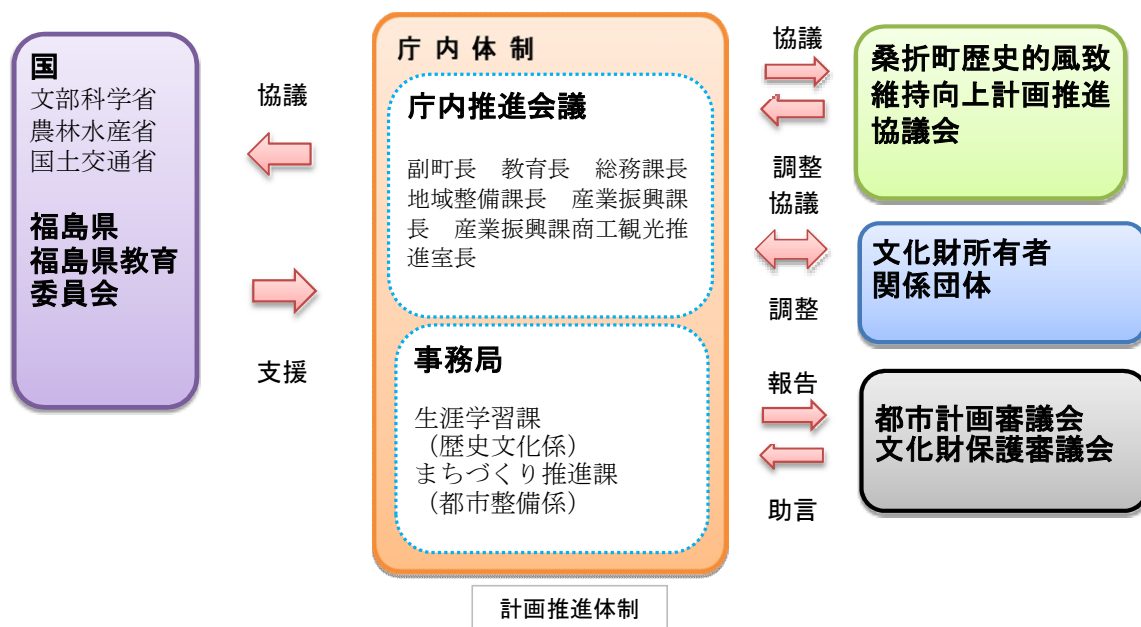
計画に記載している内容 計画を管理する生涯学習課・まちづくり推進課が事務局となり、計画策定時と同様に関係各課で構成する「庁内推進会議」にて連絡調整を行う。また、国や県との関係機関と協議を行い、適切な支援を得る。桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会において、計画推進や変更、事業の実施に向けた協議を行い、事業を推進する。必要に応じ、都市計画審議会や文化財保護審議会、文化財所有者、関係団体などと連絡・調整を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

まちづくり推進課都市整備係と生涯学習課歴史文化係が事務局として、庁内推進会議で事業の実施に係る調整、情報収集、進捗管理等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	庁内体制の中で、担当課の連携を密にし、事業を実施していく。

状況を示す写真や資料等



組織の変更

平成30年度～ 生涯学習課とまちづくり推進課が事務局となる

会議の状況

桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会

第1回 令和3年6月23日

第2回 新型コロナウイルス感染症対策のため、書面会議で開催
(令和4年2月)

庁内推進会議 令和3年6月18日

文化財保護審議会 令和3年6月4日

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和3年度
景観行政団体への移行と景観計画策定		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	福島景観計画に沿った規制を行う。また、重点区域内における建築物や工作物の建築・色彩の変更、開発行為その他の土地の形質の変更など一定の行為の制限に、自然と歴史的風致が一体となった良好な景観が形成されるよう町独自の制限を追加するため、景観行政団体への移行と景観法に基づく町独自の景観計画の策定を目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
中心市街地南部を「歴史・文化ゾーン」に位置づけ、旧伊達郡役所を核とした景観形成に着手。桑折宿の歴史的建造物は、福島県沖地震で被災した家屋が解体されたことへの反省から、国の登録有形文化財制度を活用し、保護を図っていく。 令和4年度登録推薦建造物(栗花家店舗、旧伊藤家店舗、無能寺山門 3件)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐計画どおり進捗している ☒計画どおり進捗していない		解体により、歴史的建造物が点としてしかとらえられなくなっているため、景観行政での保存ではなく、登録有形文化財としての保存を図る。	
状況を示す写真や資料等			

登録有形文化財登録に向けて調査に入る歴史的建造物



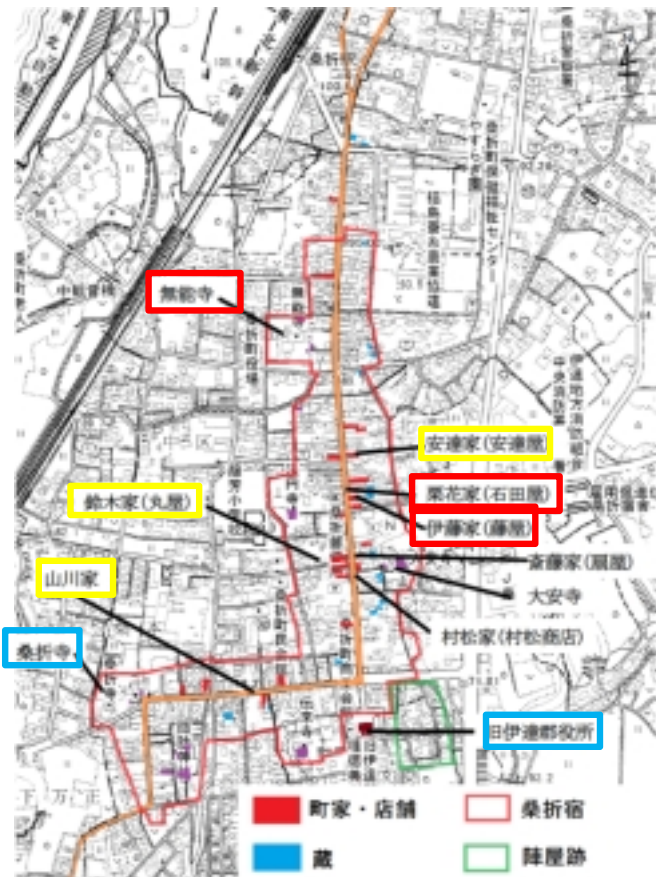
旧伊藤家(藤屋)店舗 もと菓子店



栗花家(石田屋)店蔵 もと蚕種商



無能寺山門



- 登録有形文化財候補建造物(令和4年度登録候補)
- 指定文化財建造物
- 地震による被災後、解体された建造物

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
史跡桑折西山城跡等周辺の誘導路及び駐車場整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成29年度～令和3年度

支援事業名 都市再生整備計画事業(社会資本総合交付金事業)

計画に記載している内容 史跡桑折西山城跡への道は未舗装となっており、整備が行き届いていない。史跡付近に広い駐車場が無く、アクセス道の道幅は狭いため、バスや大型の車で来訪に対応できないことから、桑折西山城跡整備事業に合わせて町道の改修と駐車場の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

周辺からのアクセスや、城内及びうぶかの郷口からこれまで整備しきれなかった案内表示について整備した。

・国道4号からのアクセス案内板の設置(新規3基、改修4基)

・城内案内板の設置(新規5基、既存案内板矢羽追加2枚)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

案内がなかった主要幹線道路からのアクセスを整備することができた。また、史跡整備事業で未整備だった案内表示や北側の登城ルートに案内板を設置し、利便性が向上した。

状況を示す写真や資料等



案内板新設
国道4号「桑折西山城跡入口交差点」を入ったところ



老朽案内板更新
既設の「歴史の小径案内板」にデザインを合わせた



桑折西山城跡城内の誘導案内板の不備な地点に簡易案内板を設置



国土交通省が整備した、史跡桑折西山城跡入口にあたる国道4号「桑折西山城跡入口」交差点表示板

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
大榎遺跡(万正寺の大力ヤ)周辺整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和3年度		
支援事業名	都市再生整備計画事業(社会資本総合交付金事業)		
計画に記載している内容	桑折西山城跡への大手道の手前に位置する大榎遺跡は、伊達氏関連の遺跡であるとともに、伊達氏関連の言い伝えが残る福島県指定天然記念物「万正寺の大力ヤ」がある。史跡桑折西山城跡の整備に併せ、伊達氏関連遺跡の一つとして、また、城跡へのアプローチの際の休憩場所として整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・広場、案内板、保護支柱の整備、支障木撤去			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	伊達氏発祥の地関連の歴史遺産として、桑折西山城跡及び周辺施設と一体化した整備を図ることができた。		
状況を示す写真や資料等			
 万正寺の大力ヤ全景 周辺建物の解体、周辺に生えていた樹木を伐採し、支障物がなく全体を眺望できるようになった		 桑折西山城跡ガイダンス施設を設置した町老人福祉センター「大かや園」と一体となる広場を整備	
 老朽化した案内板を更新		 地面に着いて枝枯れ、腐朽の発生していた枝を持ち上げる支柱を設置	

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
桑折宿の歴史的風致形成建造物等に関する修景助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～令和7年度	
支援事業名	町単独事業	
計画に記載している内容	桑折宿内に残っている歴史的建造物のうち、歴史的風致形成建造物について、修理・修景する際の費用の一部を助成し、定期的に一般に公開する。また、未指定の歴史的建造物についても、街道に面している部分を修景する場合の費用の一部を補助する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
「桑折町歴史的風致形成建造物」の見直しを行い、桑折宿の歴史的景観を維持していくため、国の登録有形文化財制度を活用し、保存していく道筋を付けた。 登録有形文化財候補建造物を選定し、調査費を予算化した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	福島県沖地震により、歴史的建造物で解体されてしまったものがあつたため、これ以上の滅失を防ぐため、国登録有形文化財制度を活用し、桑折宿の町家等の保存・活用を図っていく。	
状況を示す写真や資料等		
 登録有形文化財登録を目指す旧伊藤家(藤屋)(歴史的風致形成建造物候補)  登録有形文化財登録を目指す栗花家(石田屋)(歴史的風致形成建造物候補)  登録有形文化財登録を目指す無能寺山門 幕末建の棟札が残される薬医門 取り壊された歴史的風致形成建造物候補 ・旧鈴木家(丸屋)店蔵 ・旧安達家(安達屋)店舗		

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
旧伊達郡役所周辺整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成31年度～令和7年度	
支援事業名	都市再生整備計画事業(社会資本総合交付金事業)	
計画に記載している内容	旧伊達郡役所の周辺について、道路の美装化や無電柱化(地中以外の手法を含む)。旧伊達郡役所の柵やトイレの改修など良好な町なみを維持できるよう、景観に配慮した整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・門・周辺塀柵改修工事(明治期の写真を参考に景観再現)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和3年2月13日の福島県沖地震により、旧伊達郡役所本体が被災した。災害復旧工事をはじめ、保存修理工事を行い、令和4年12月の再開館を目指す。	
状況を示す写真や資料等		
 完成した門扉  門及び周囲の柵の再現の参考とした明治後期頃の伊達郡役所		
 整備後状況 道路の突き当りに擬洋風庁舎がそびえる景観を再現できた  旧伊達郡役所周辺整備竣工式 桑折町文化財保護審議会長・桑折町文化財保存会会長を招聘して開催		

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
西根堰及び水路修景事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和3年度～令和7年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 重点区域内の西根堰や西根堰から分水する水路について、歴史的建造物が残っている部分の保存・維持を図るとともに、歴史的風致が色濃く残る場所に子供や大人が集まり楽しめる親水性のある空間として、復元・整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

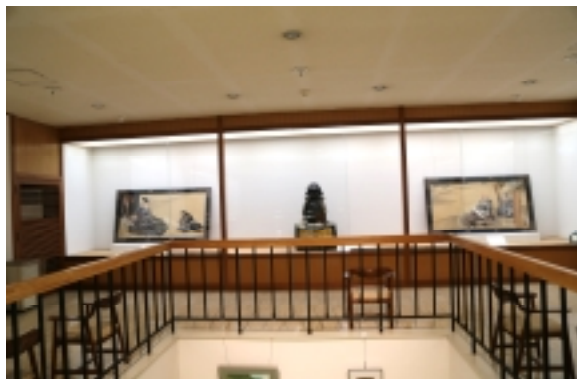
・「西根堰開削400年記念誌」発行の支援(伊達西根土地改良区事業支援)
事業期間に先立って町や西根堰を管理する伊達西根土地改良区が平成29年から行ってきた企画展開催や、ウォーキング、講演などの西根堰開削400年事業のまとめ

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	事業期間に先行し、主にソフト事業を中心に実施。町主催の企画展や西根堰土地改良区と資料相互提供等を行ってきた。令和3年度に至り、「記念誌」が完成、発行となった。

状況を示す写真や資料等



「西根堰開削四百年記念誌 西根堰の歴史」

桑折町種徳美術館企画展「西根堰展」
開削400年プレ企画として実施(H29)

西根堰ウォーク

西根堰開削400年記念事業として実施(福島民友新聞社主催(H30))

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
屋外広告物等の景観に配慮した改善に対する助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成29年度～令和7年度

支援事業名 都市再生整備計画(社会資本総合交付金事業)

計画に記載している内容 重点区域内の歴史的風致を形成する建造物等の周辺に存在する屋外広告物のうち、歴史的風致の風情を阻害する屋外広告物を景観に配慮したものに改修する場合、費用の一部を補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

福島県沖地震により再び歴史的建造物が被災し、計画策定時と状況が大きく変化したため、助成事業として進めることができなかった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐計画どおり進捗している
☒計画どおり進捗していない
 今後、所有者等の意向調査等の実施を含めて事業の見直しが必要となっている。

状況を示す写真や資料等



桑折宿の町並み景観保存

福島県沖地震により、歴史的風致維持向上建造物指定候補であった「旧鈴木家蔵」などが解体された反省から、歴史的建造物の登録有形文化財への登録を推進し、保存を図る準備を進めた。

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和3年度		令和3年度
評価対象年度		現在の状況
項目		
歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成28年度～令和7年度	
支援事業名	町単独事業・福島県サポート事業	
計画に記載している内容	歴史や文化財を活かしたまちづくりや街並みや桃源郷の風景などの景観の維持・向上に関する住民向けの講演会やシンポジウムを開催する。また、史跡桑折西山城跡の完了後、「全国山城サミット連絡協議会大会」の誘致を目指す。	
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で		
令和3年10月30日～31日 全国山城サミット桑折大会開催（配信再生 30日2,683回、31日5,621回、総再生回数18,000回 令和3年12月20日～令和4年1月10日 エールプロジェクト関連事業「旧伊達郡役所ライトアップ」		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		「全国山城サミット桑折大会」を町民一丸となって開催し、意識の向上を図ることができた。また、事業の反響から、桑折西山城跡がマスコミに取り上げられ、来場者数が増加し、交流人口の拡大に繋がった。
状況を示す写真や資料等		



令和3年10月30日、31日 全国山城サミット桑折大会
桑折町より全国、全世界に向けて生配信



令和3年10月30日～10月31日 万正寺の大カヤライトアップ
全国山城サミット桑折大会に合わせ周辺整備の進んだ県指定天然記念物万正寺の大カヤをライトアップ



桑折西山城跡・全国山城サミットPR展示
於 桑折町役場町民ロビー
史跡整備が完了した桑折西山城跡の案内と「全国山城サミット桑折大会」のPRとして、西山城の資料を桑折町役場町民ロビーに展示



エールプロジェクト 旧伊達郡役所ライトアップ
令和3年12月20日～令和4年1月10日
周辺整備の進んだ旧伊達郡役所を色を日替わりで年越しライトアップ。

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和3年度		令和3年度
項目		現在の状況
歴史・文化財学習講座事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成28年度～令和7年度	
支援事業名	町単独事業・福島県サポート事業	
計画に記載している内容	本町の歴史的風致への理解を求め、地域住民を対象に本町の歴史や文化財に関する学習講座を開催する。また、桑折町文化財保存会と連携しながら町内の小・中学生を対象に出前講座や現地説明会等を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和3年10月31日 全国山城サミット桑折大会「千田嘉博先生講演」春風亭昇太郎匠との「歴史トーク」 歴史案内人勉強会の開催 小学校の郷土学習に講師を派遣(町内4小学校、計7回)		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		史跡桑折西山城跡をはじめとする歴史遺産について、町を挙げて未来へ繋いでいく意識の向上を図ることができた。
状況を示す写真や資料等		



「全国山城サミット桑折大会」

城郭考古学者・千田嘉博氏と中世城館好きを自認する落語家春風亭昇太郎匠との歴史トークを生配信



歴史案内人学習会

「全国山城サミット桑折大会」での案内担当に臨むため、自主的に活動開始。



小学校総合学習への講師派遣

小学生の総合学習に町学芸員が出前講座

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和3年度		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
小中学生の認識向上推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	町内の小中学校と協力しながら、後世への伝承者である小中学生に本町の歴史や文化遺産に関する知識を持ってもらうため、桑折町を総合的にかつ分かりやすく説明する教材を作成するとともに、桑折町文化財保存会やボランティアガイドと連携し、実地説明を行うなど、子供たちが体験しながら学べるような授業を開発する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
町内各小学校6年生が総合学習で桑折西山城跡学習を行った。 ・教室で座学による授業と現地学習(講師:町学芸員) ・学習成果を模造紙にまとめ、全国山城サミット桑折大会、桑折町総合文化祭、桑折町役場町民ロビーで発表 ・発表会の様子を録画し、全国山城サミット桑折大会で配信			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		各学校において、「桑折西山城跡」を総合学習のテーマにしたカリキュラムを組んだ。歴史案内人や町学芸員が学校側と連携し、学習機会を増やしていきたい。	
状況を示す写真や資料等			



令和3年6月3日 陸合小学校総合学習

「全国山城サミット桑折大会」開催に向け、町内各学校で「桑折西山城跡」を総合学習で取り上げた。



令和3年10月22日「薩芳小学校6年生総合学習発表」

今年度のテーマの桑折西山城跡学習のまとめ発表。代表班の発表を収録して「全国山城サミット桑折大会」で配信



町内全小学校の桑折西山城学習の成果を役場町民ロビーに展示

令和3年11月8日～12月24日

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
観光・歴史・文化財等総合ガイダンス施設整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和7年度	
支援事業名	町単独事業	
計画に記載している内容	桑折宿にある歴史的風致形成建造物の指定候補で使われていない空き店舗や公共施設の空きスペースを活用し、中心市街地の賑わいを創出できるような人々の交流機能を持ちながら、観光や歴史、文化財などを総合的に案内する施設を整備する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和3年2月及び令和4年3月の福島県沖地震により、桑折宿にある歴史的風致形成建造物が複数被災した。総合ガイダンスとして想定していた建造物も解体されたため、ガイダンスの整備等について今後十分な議論が必要となった。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	新総合計画において位置付けている「歴史文化エリア」の周辺整備について、今後の検討が必要。	
状況を示す写真や資料等		
 福島県沖地震で被災し、解体となった旧丸屋(かつて御蔵として活用)  解体となった跡地		

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
周遊性向上・案内板等整備事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成28年度～令和7年度		
支援事業名	都市再生整備計画事業(社会資本総合交付金事業)、町単独事業		
計画に記載している内容	町民や来訪者が、歴史的建造物や文化財等を楽しみながら効率よく巡ることができる散策ルートを検討・設定する。併せて、今後作成する案内板等の作成基準となる統一デザインを定めるとともに、散策ルートに合わせた案内板や案内標識、説明板の新設や更新を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・史跡桑折西山城跡内外のアクセス向上のため案内板を設置 ・老朽化した伊達崎城跡の解説板を更新 ・県が老朽化した新奥の細道案内板を整備した際、協議の上、デザイン、色調の統一を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	案内板の維持管理をしながら利用できるものは引き続き利用していく。		
状況を示す写真や資料等			



桑折西山城跡周辺案内板整備
 国道4号から史跡桑折西山城跡まで誘導する案内板を整備
 新規設置2基 既存案内板更新4基
 城内案内板5基 既存案内板矢羽追加2枚



万正寺の大カヤ解説板更新
 万正寺の大カヤ周辺整備事業の一環として整備。複数の団体がそれぞれ設置していた標柱も整理した。



伊達崎城跡解説板更新
 伊達氏一族居館跡の老朽化していた解説板を桑折西山城跡や万正寺の大カヤ等の案内板とデザインを統一して改修



新奥の細道自然遊歩道案内板更新
 老朽化が著しかった案内板を福島県自然保護課の事業として更新する際、デザイン、色調の統一を図った。

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
桑折宿周遊拠点整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和3年度～令和7年度

支援事業名 都市再生整備計画事業(社会資本総合交付金事業)、町単独事業

計画に記載している内容 来訪者が桑折宿を散策する際に安心して休憩できる場所として、空き地を活用し街道沿いに駐車場や休憩できるポケットパーク的な施設や案内板等を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年2月及び令和4年3月の福島県沖地震により、桑折宿にある歴史的風致形成建造物が複数被災した。計画策定時と大きく状況が変化しており、拠点の整備について今後十分な議論が必要となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐計画どおり進捗している
☒計画どおり進捗していない

桑折宿の残された歴史的建造物を国の登録有形文化財制度を活用した保存を図りながら、案内板や休憩施設等のあり方を検討する。

状況を示す写真や資料等



□ 案内板
 ○ 標柱
 ◇ 歴史的風致形成
 建造物解説板

△ 桑折宿案内板

桑折宿案内板整備

旧伊達郡役所を中心に案内板、解説板、標柱を設置計画作成



解体された歴史的建造物の跡

旧丸屋(鈴木家蔵) 御蔵として活用されていた。

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
桃源郷周遊性向上事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成29年度～令和3年度

支援事業名 都市再生整備計画事業(社会資本総合交付金事業)

計画に記載している内容 阿武隈川氾濫原の果樹畑(桃源郷)を印象的に体験できる周遊ルートの検討や案内看板の設置、駐車場・展望スペースなどの周辺環境の整備など、阿武隈川と一体となった桃源郷の周遊性の向上を図る事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「桑折地区かわまちづくり計画」事業として、桑折地区かわまちづくり検討委員会と国、町が協議してきた桑折町阿武隈川多目的親水公園「ピーチリパーク157」が完成した。
 ・国道4号からのアクセス案内板、施設案内板の整備
 ・既整備の桃の郷トイレとの融合により、「かわ」と「桃源郷」を結び付けた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

整備内容を桑折地区かわまちづくり検討委員会で決定し、今後の活用や維持・管理に地元住民の協力をもらいながら実施していきたい。

状況を示す写真や資料等



桑折町阿武隈川多目的親水公園「ピーチリパーク157」

桑折町かわまちづくり検討委員会による企画で、阿武隈川の河川敷に親水公園を国が整備



ピーチリパーク157案内看板

阿武隈川多目的親水公園整備に伴い、国道4号からのアクセス案内板を設置

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
文化財等保護活動団体及び歴史を活かしたまちづくり団体への支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和42年度～令和7年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 文化財等の保存・活用に関わっている団体や歴史を活かしたまちづくり団体と連携しながら、本町の歴史や文化財保護等の啓発を行う活動や後継者育成のための事業などの支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

補助対象

桑折町文化財保存会：福島県沖地震被災文化財(未指定含)の復旧、全国山城サミット桑折大会への参画、協力

保存団体支援

「全国山城サミット桑折大会」参加：半田醸芳小学校4年生「半田銀山祇園ばやし」、白石市古式銃術保存会「片倉鉄砲隊」の火縄銃術の披露

桑折宿まちなか街道事務局事業支援：「伊達氏ルーツ居城マップ」の作成(「道・絆プロジェクト2021」と連携)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

関係団体とさらに連携を密にしながら活動や事業の支援を進めていきたい。全国規模の大会等で本町の伝統芸能の発表機会をつくることで、活動の支援や情報発信をしていく。さらに、補助金による支援などを行い、後世に継承していく。

状況を示す写真や資料等



福島県沖地震で倒壊した未指定文化財を文化財保存会が修理
 田植地蔵遺跡



「全国山城サミット桑折大会」で白石市古式銃術保存団体の「片倉鉄砲隊」
 が戦国時代の山城桑折西山城跡で火縄銃の銃術を披露

「全国山城サミット桑折大会」で半田醸芳小学校4年生が
 郷土の伝統芸能「半田銀山祇園ばやし」を披露

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
地域の文化遺産の調査及び継承支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	調査:平成28年度～令和2年度 継承支援:平成28年度～令和7年度	
支援事業名	町単独事業	
計画に記載している内容	町内には詳細な調査・研究がされてこなかった歴史的建造物や文化財、祭礼などの文化遺産が多く残っている。それらの総合的な把握と記録保存などの学術的な調査を行い、データベース化を図る。併せて、活動ができるよう、伝統的な用具や衣装の修繕や担い手育成などの活動に対して、調査に基づく支援を適正に行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
京都祇園囃子保存団体が指導する半田醸芳小学校4年生に全国山城サミット桑折大会のオープニングで京都祇園囃子を披露(ライブ配信)。 県指定文化財の所有者変更(相続)に併せ、美術品、古文書等資料調査。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	桑折町祇園ばやし振興会が解散したため、京都祇園囃子保護団体へ支援した。さらに、令和4年度は諏訪神社祭礼で御柱祭の年に当たり、継続すべき伝統芸能として支援が必要となる。	
状況を示す写真や資料等		
 全国山城サミット桑折大会 半田醸芳小学校4年生 半田銀山祇園ばやしをオープニングで披露。郷土芸能「京都祇園囃子」を全世界に向けて発信  県指定文化財の相続による所有者変更に合わせて、旧家の美術品、資料を調査。写真の水墨画は保原出身の医師で画家の作品と判明		

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定など			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	これまでの調査・研究を活かし、現状及び実態の把握に努め、リストアップしデータベース化する。文化財指定がふさわしいと判断されたものについては、指定に向け取り組む。歴史的建造物については、以前の調査結果を活用しながら、調査を行う。祭礼や伝統行事などの無形民俗文化財について、次世代に残すために調査・記録保存をする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財指定、登録のための調査: 観音寺観音堂(県指定候補調査)、無能寺山門(登録有形文化財登録のため) 開発に伴う埋蔵文化財調査: 坊ノ内遺跡試掘調査、播磨館跡試掘調査、中郷遺跡試掘調査 桑折町文化記念館保管資料の再整理: 福島県沖地震により桑折町種徳美術館が被災したため、収蔵・保管している美術品、古文書、半田銀山資料の再整理に着手した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		福島県沖地震によって桑折町種徳美術館が被災した。施設のあり方や美術品、古文書などの資料の保存・活用について、検討が必要になっている。	
状況を示す写真や資料等			



町指定文化財の県指定文化財格上げに向けての調査
町指定有形文化財観音寺観音堂を県文化財課が調査



登録有形文化財登録に向けての調査
無能寺山門を登録有形文化財調査を開始(ほか、2件を候補として選定)



播磨館跡試掘調査 伊達氏一族桑折氏の居館跡(遺構・遺物ともに検出されなかった)。



文化記念館に保管している町史収集資料(古文書)、半田銀山関係資料等の再整理に着手

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災に関する取組など		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	文化財の修理や整備にあたっては、法令に基づき、また、文化庁等の関連機関の指導を受けつつ実施する。民間所有の文化財の修理にあたっては、補助金等の支援を行い、各種財団等の補助制度の活用を助言を行う。文化財周辺の整備は、当該文化財や周辺環境との調和のとれたものとする。防火対策は、法令に基づいた適切な予防対策をとり、文化財防火デーの取り組みなどで文化財保護への関心を高める。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
・史跡桑折西山城跡では、文化財に親しむ取り組みとしてボランティア草刈りを行い、地元企業や町民が多数参加した（4回開催）。 ・福島県沖地震で被災した旧伊達郡役所の災害復旧・保存修理に着手した（令和4年度完成予定）。 ・文化財防火デーの取り組みとして、重要文化財「旧伊達郡役所」で防火設備の操縦訓練を行った。 ・都市再生整備事業として、県天然記念物万正寺の大力ヤの周辺整備を行い、保護、活用の環境が整った。			
進捗状況※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		地元住民の文化財に対する深い理解と多大なる協力のおかげで実施できている取り組みである。今後も継続して取り組んでいきたい。	
状況を示す写真や資料等			



旧伊達郡役所災害復旧保存修理事業

令和3年3月13日福島県沖地震で被災した旧伊達郡役所の修理事業に着手。同時に経年劣化部分も修理する。文化庁調査官の修理方針指導。



旧伊達郡役所放水訓練

文化財防火デーに合わせて実施(令和4年1月28日)



万正寺の大力ヤ周辺整備事業

県指定天然記念物万正寺の大力ヤ周辺整備をし、日本一といわれるカヤの巨木の保存施設を整備するとともに、



桑折西山城跡草刈りボランティア

広大な城跡の除草と清掃を多くの町民参加を得て実施

4月10日(土) 参加者54名

6月12日(土) 参加者120名

8月28日(土) 参加者105名

10月9日(土) 参加者114名

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	桑折西山城跡等の文化財について歴史講座を開催したり、歴史や文化財を活用したイベントなどを行い、認識を深める。パンフレットやマップ、案内板、ボランティアガイドなどを充実させる。文化財保護団体や伝統芸能団体への支援を行い、活発な活動を行えるようにする。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
山城サミット桑折大会 史跡桑折西山城跡をテーマにライブ配信した。（再生回数18,000回） NHKBSプレミアム『英雄たちの選択』『伊達植宗の巨大山城』 NHK歴史番組で桑折西山城跡が紹介された。 桑折西山城跡紹介動画作成 山城サミット開催に先立ち城郭考古学者千田嘉博氏の解説により作成（再生回数6,500回） エールプロジェクト「旧伊達郡役所ライトアップ」 クリスマス～年末年始にかけて旧伊達郡役所をライトアップした。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		引き続き桑折西山城跡を活用した事業は取り組んでいく。	
状況を示す写真や資料等			



桑折西山城跡紹介動画作成

山城サミット開催事業の一環として、講師に城郭考古学者千田嘉博氏の説明による



全国山城サミット桑折大会

於 桑折町民体育館・史跡桑折西山城跡
 令和3年10月30日、31日 配信視聴者 当日 8,304人



NHK BSプレミアム「英雄たちの選択」ロケ

NHKの歴史番組に桑折西山城跡と伊達植宗が紹介された。撮影の様子



「旧伊達郡役所ライトアップ」

於 旧伊達郡役所
 令和3年12月20日～令和4年1月4日

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	令和3年度
桑折で全国山城サミット		年月日	掲載紙等
桑折で全国山城サミット		令和3年10月31日	福島民報
桑折西山城の歴史解説		令和3年11月1日	福島民友
明治期の門扉再現		令和3年10月2日	福島民友

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地元紙を中心に、文化財整備事業や活用事業が取り上げられることで、本町の歴史的遺産や活用事業を広く周知することができた。特に、「全国山城サミット事業」は、準備段階や伊達植宗の紹介記事や、テレビ、ラジオでも取り上げられ、本番に向けて周知を図ることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	記事を読んでイベントに参加したり、歴史遺産等を訪れてみたくなるケースが多いので、事前・事後に記事にしてもらえよう、情報発信に努めたい。

状況を示す写真や資料等



福島民報
令和3年10月31日



福島民友
令和3年11月1日



福島民友 令和3年10月2日



テレビ番組による桑折西山城跡の紹介

- ・6月12日(土)
福島テレビ「サタふく」
- ・11月17日(水)
NHKBSプレミアム
「英雄たちの選択」
- ・3月25日(金)
神奈川テレビ
「中島卓偉のお城に行こう！」

項目		評価対象年度	令和3年度
観光入込客数の推移について			
計画に記載している内容	歴史的風致の維持向上を図ることで、町民の意識が向上し、観光を中核とした交流人口の増加が期待される。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
新型コロナウイルス感染症拡大による影響で減少した観光客数は、回復のきざしは見られたものの、令和3年2月13日の福島県沖地震により旧伊達郡役所、桑折町種徳美術館が再び被災し、休館となったため、減少に歯止めをかけることができなかった。史跡桑折西山城跡は、史跡整備の完成や「全国山城サミット桑折大会」の開催、一連の事業について、マスコミに紹介されたことにより、飛躍的に増大し、大きな効果をあげることができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画の進捗に影響あり □計画の進捗に影響なし		コロナ禍の中、観光客数は回復のきざしがある。全国山城サミット桑折大会の開催や、NHKBS「英雄たちの選択」で取り上げられたことにより、桑折西山城跡の来場者は飛躍的に増大した。旧伊達郡役所、桑折町種徳美術館は、閉館していた時期が長く、来場者数は減少した。	
状況を示す写真や資料等			



令和3年11月14日 JR小さな旅
桑折町歴史案内人が桑折宿や旧伊達郡役所、陣屋の杜公園等を案内
参加者約15名



陣屋の杜公園では、写真愛好団体「サン・フォトこおり」会員によるミニ現地講座「上手な紅葉の撮影の仕方」を開催。



令和2年度に史跡整備が完了した桑折西山城跡は、イベント開催、マスコミに取り上げられたことによる効果から、多くの来場者を集めた。

桑折町の観光入込客数の推移

平成28年度	135,282人
平成29年度	114,240人
平成30年度	146,991人
令和元年度	112,010人
令和2年度	46,074人
令和3年度	72,042人

旧伊達郡役所入館者数

平成27年度8,881人、平成28年度10,256人、
平成29年度5,594人、平成30年度10,397人、
令和元年度3,906人、令和2年度3,090人、
令和3年度149人

桑折町種徳美術館入館者数

平成27年度2,064人、平成28年度2,679人、
平成29年度1,606人、平成30年度1,899人、
令和元年度1,822人、令和2年度1,559人
令和3年度750人

桑折西山城跡来場者数

平成27年度405人、平成28年度370人、平成29年度486人、
平成30年度804人、令和元年度1,939人、令和2年度700人、
令和3年度2,781人

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 令和4年6月8日	
(コメントの概要) 【景観行政団体への移行と景観計画策定】 ・桑折町で景観計画をやっていないことが気がかりだ。歴史的風致維持向上計画認定都市の中には、すでに2期計画に入っているところも多くなっている。 ・歴史的風致維持向上計画の2期目に入っていくには、景観計画の策定が最低限のもので、最もハードルが低い。重点区域における良好な景観の形成には、登録有形文化財だけでは不十分だ。歴史的風致というのは、個別に建造物を残すものではない。 ・地震により歴史的建造物が喪失したのは残念である。古い写真を集めて3D画像として再現している事例もあるので参考としてほしい。 【桑折宿の歴史的風致形成建造物等に関する修景助成事業】 ・登録有形文化財に登録していくことより、歴史的風致形成建造物を指定していくことが先ではないか。 ・歴史的風致形成建造物に指定する基準がないから進まないのではないかと。実際に運用している歴史的風致維持向上計画認定都市を参考に検討するべき。 【西根堰及び水路修景事業】 ・ハード整備を行うのであれば、いつの時代に合わせて整備するのか、水利関係の水路であるため、整備をする前にシュミレーションを行う必要がある。 【屋外広告物等の景観に配慮した改善に対する助成事業】 ・他の自治体の制度を参考に事業を立ち上げるのがいいのでは。 【小中学生の認識向上推進事業】 ・高校の授業に「歴史総合」という近現代を中心に、テーマを設定し、考えて解決する授業ができた。隣接市等の高校と連携し、半田銀山や五代友厚等のテーマを売り込んでみてはどうか。 【観光・歴史・文化財等総合ガイダンス施設整備事業】 ・総合ガイダンスを想定していた歴史的建造物が地震で解体されてしまったということだが、借上げや購入する等、町がストップをかける仕組みはなかったのか。 ・NPOで交渉し津波で水没した蔵を保存した事例や公家が空家を譲り受けるという、自治体ではできない事業を行っている事例もある。福島にも福島史料ネットワークという活動もあるので、建物のみでなく歴史資料を含めた保存の相談をしてみるとよい。 ・歴史的建造物を残していくには、現在使っている人の次の担い手が商売が成り立つというような仕組みができれば、残すほうも積極的になってくるのではないかと。 【文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定など】 ・資料をデータベース化し、公開すべき。教育にも役に立てるような方法で再整理してほしい。 ・資料の勉強会など、活用の方法を考えてほしい。町の外の人にも分かるようにしておかねばならない。 ・文化財総合地域計画を策定し、資料のデータベース化を図っていくのも方法である。 【全体に対して】 ・歴史的風致維持向上計画を策定したときの当初の計画に合致しているのか、整理をする必要がある。	
(今後の対応方針) ・今回の推進協議会委員の方からいただいた意見を参考に、対策・手法等を工夫しながら事業を展開していく。 ・歴史的風致維持向上計画認定都市の先進事例を参考にしながら、遅れている事業の内容を検討する。 ・「桑折町歴史的風致維持向上計画」策定当初の計画に合致しているかを整理し、計画の見直しを図る。	